

スルコヲ得ルナリ

25 カモメ *Larus canus* 久田村海濱ニ於テ獲タリ嚴原

埠頭ニモ多シ

● みづくらげ (第七版)

岸 上 鎌 吉

Aurelia japonica, nov. sp.

BY

K. KISHINOUE.

Aurelia ニ屬スルくらげハ地球上到ル處ノ海ニ産シ、常ニくらげノ摸範トシテ記サル、モノナリ、今日迄ニ知ラレタル此屬ノくらげハ凡テ九種アリ。本邦ニモ此屬ノくらげ非常ニ多クアリテ且ツ何レノ處ニモ見ル、みづくらげ、よつめくらげ、もちくらげ等ノ名ニテ知ラル、遠州灘ヲ航行スルキ水面ニ白色透明ニシテ中央ニ四個ノ淡紅色ノ環狀體アル圓盤狀ノ塊ヲ見ル、是レ此くらげナリ。此くらげハ既ニ知ラレタル九種ノ何レニ屬スルヤ、本邦ニハ此屬ノくらげハ只一種ヨリナキヤ、予ノ知ル所ニテハ此

等ノ質問ニ對シテ今日マデ誰モ答ヘタル人ナキ様ナリ、

只西洋ノ書籍ニ常ニ *Aurelia aurita* ノ記シアルヲ見且ツ

Aurelia ハ到ル處ニ産スルコトヲ聞キ本邦産ノモノモ亦 *A.*

aurita ヨリ外ノモノニ非ズト思ヒ誤リ居ル者モアル如シ。

予モ委シキコトハ一向知ラザレモ品川沖ニテ過日採集セシ

みづくらげハ外國ノモノト同種ト覺ヘズ、新種トスル方

適當ナリト考ヘタレバ爰ニ新種トシテ記ス、然シ本邦ノ

みづくらげハ皆此新種ニ屬スルヤ否ヤ則チ爰ニ記スル

らげノ外 *Aurelia* ニ屬スルくらげハナキヤ否ヤハ今予ノ

斷言シ能ハザル所ナリ。

みづくらげハ多ク外洋ニ群游スルモノ、如シ、然レモ

風潮ノ模様ニヨリテ時々内海へ澤山群集シ來リ小舟ノ進

路ヲ妨グル程ニ至ルコトアリ。内海ニテ常ニ多少ノみづく

らげヲ見レトモ多クハ損所アリテ完全ノモノハ甚ダ稀ナ

リ、且ツ多クハ既ニ死シ居ルナリ。

みづくらげハ *Semostoma*, *Umaridae* ニ屬ス、八個ノ

感觸體、八個ノ廣キ(時トノ二分サレタル)邊瓣ヲ有ス、

各邊瓣ノ邊縁ヨリ少シ背部ニ數多ノ觸手ノ列ヲナスヲ見ル、口腕ハ簡單ナリ。

かさハ白色透明ニシテ隨分堅シ故ニあるこ一ニテ保存スルコ容易ナリ、上面ハ平滑ニシテ中央部少シ隆起シ其形殆ンド菅笠ニ似タリ、直徑ハ高サニ五倍ス、中央部最モ厚ク邊縁ニ近ヅクニ從ヒ漸次厚サヲ減ス。邊縁ヨリ少シ上ニ細小ナル觸手數多アリ。觸手ト入り違ヒニ數多ノ小サキ葉狀片アリ。

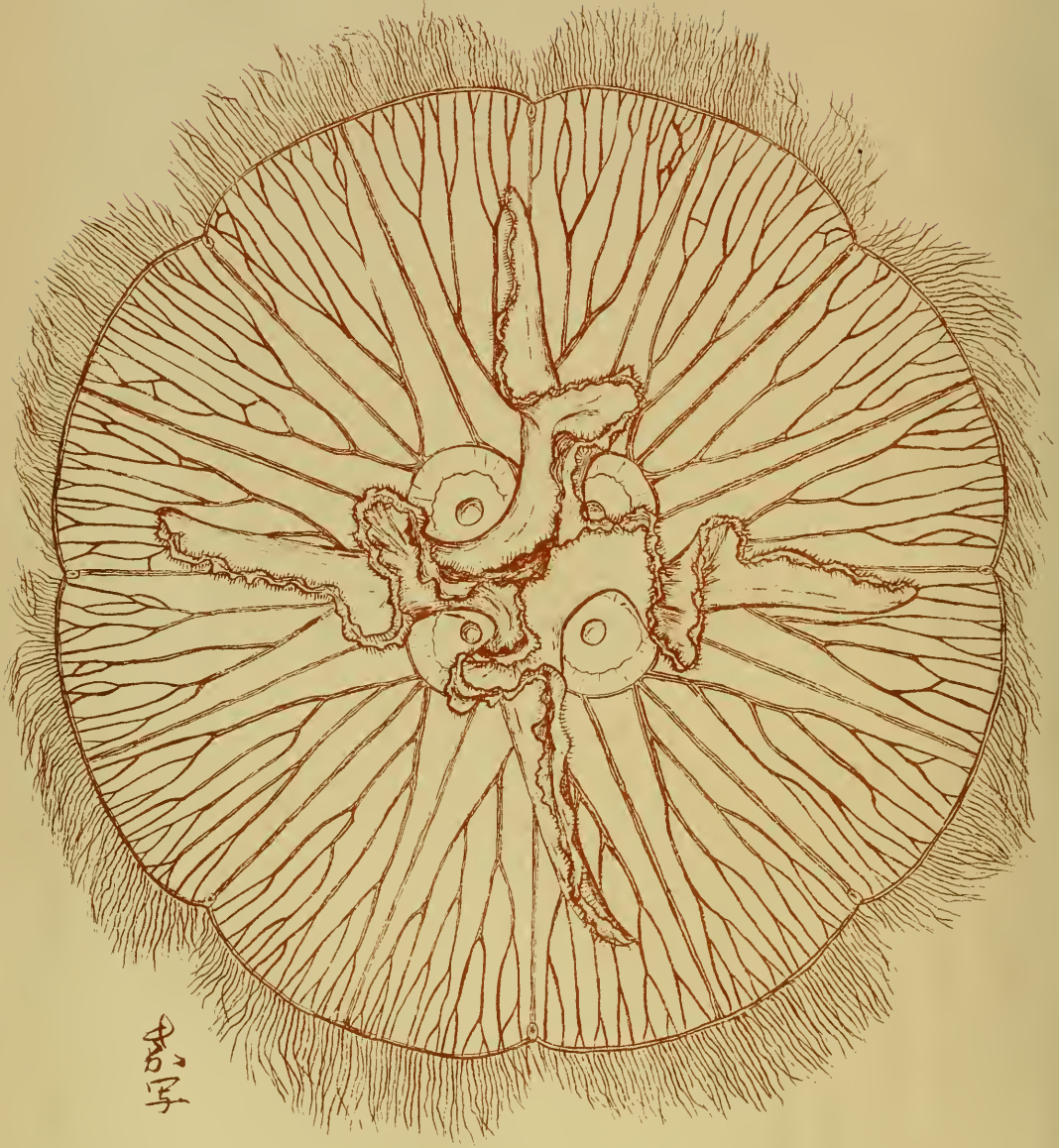
口腕ハ四個アリ、中央口腔ノ周圍ニテ合ス、其長サハノ半徑ヨリ短カシ、邊縁ハ褶襞多ク、附着部ニ近キ所ハ幅廣クシテ横へ曲リ居ル、下ヨリ見ルルハ四個ノ口腕ノ基部ニ互ノ形ヲナシタル口腕ノ縁ノ合セ目ヲ見ル。

生殖腺ハ四個ノ口腕ト入り違ヒニアル四個ノ圓形ノ腔洞ヲ圍ム環形ノ淡紅色帶ナリ。圓形ノ腔洞ハ口腔ト連ナル、此腔洞ノ下ニ之ト連絡ナキ腔洞アリ、圓孔ヲ以テ外界ニ通ズ。生殖腺ノアル圓形腔ノ長サハかさノ半徑ノ凡ノ四分ノ一ニ當ル。

消化循環系ノ放射管ハ十六アリ、内八本ノ Adradial ナルモノハかさノ周邊ニ至ルマデ分枝セズ、Perradial 及ビ Interadial ノ放射管ニ生殖腺腔ノ高サニ於テ三又ニ分タル。故ニ生殖腺腔ノ周邊ニテ合スル放射管ハ五本ナリ、則チ Adradial 二本、Interadial ノ三本ノ枝トナリ。 Interadial ノ左右二本ノ枝ハ又數回分枝ス、然シ此等ノ枝ハ互ニ結合スルコ少ナク網ノ目ノ如キヲ作ルコ稀ナリ。中央ノ枝ハ分枝セズノ眞直ニ周邊ニ到ル。周邊ニハ一ツノ環狀管アリテ凡テノ放射管及ビ其枝ヲ結合ス。

かさノ直徑十五セ、め程アリ。

みづくらげハ北米ニ産スル *A. Davidula* ニ甚ダ能ク似タリ、然シ放射管ノ分枝、生殖腺ノ大サ、及ビ全體ノ色等ニ於テ異ナレリ。又歐洲ノ *A. aurita* ニモ似タリ、然シ口腕、色等ニ於テ差違アリ、北米ノ *A. marginalis* ハ生殖腺大ナリ。 *A. byalina* ハ口腕長ク、放射管ノ分枝數多ノ網ノ目ヲ作ル。 *A. labiata* ハ少シ紫色ヲ帶ビ、かさノ邊縁十六ニ分タル。 *A. clausa*, *A. limbata*, *A. coerulea* 等皆かち



あ
の
字

Aurelia japonica.

ノ邊緣十六ニ分タレ皆觸手或ハ全體ニ色アリテ本邦ノみづくらげト異ナレリ。故ニ予ハ本邦ノモノヲ新種トナス。

Species-diagnosis: Umbrella flat, a little vaulted, 4-5 times as broad as high. 8 velar flaps of the umbrella-margin not protruding, divided by slight, shallow ocular incisions only. Mouth-arms a little shorter than the radius of the umbrella, their margin much curled, and their proximal halves with broad and strongly folded lobes. Umbrella-radius 4 times the radius of the gonads. At every genital bay 3-5 canal-roots. 16 dendritically branching canals form a few meshes only.

Colour: Transparent and white, the gonads only are very slightly rose-coloured.

Size: Diameter of the umbrella 150 mm. Height 30-35 mm.

Ontogeny: Unknown.

Locality: Tokyô Bay, Japan.

みづくらげ

附言 予ハ一兩年前ヨリ本邦ニ産スルくらげ類ヲ取調べンコトヲ思ヒ立チ先ツ *Scyphomedusæ* (真正水母類)ヨリ手ヲツケ始メタリ、是レ此類ノくらげノ形大ニシテ數少ナキヲ以テナリ。然シ貧乏書生予ノ如キモノ一人ニテ本邦ノくらげヲ盡ク取調べンコトハ非常ノ難事ナリ。今日迄ニ自身ニ採集シタル真正くらげハ僅カニ九種ニ過ギズ、是レ主トシテ此種類ノ動物ハ一年中アルコト少ナク又一地方へ採集ノ爲ニ旅行スルモ僅々二三週間ノ滞在ニテハ其時期ニアル其地方ノくらげノミニテモ充分知ルコト能ハズ。此等ノ困難アルニ拘ハラズ予ノくらげヲ研究セント欲スルハ其形ノ驚ク可ク奇麗ナルト其構造ノ外國ノモノト大ニ異ナルヲ以テナリ。

地方諸君ニシテ常ニ海濱ニ住セラル、方、或ハ採集ノ爲、或ハ保養ノ爲ニ海濱ニ滞在セラル、方ニテ何處ニ何時如何ナルくらげアリトカ又其構造等ヲ調べラル、方ハ本誌へ御報知アラシムコトヲ切望ス。